

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672200112
法人名	有限会社 童里夢
事業所名	グループホーム どりーむ
所在地	鹿児島県指宿市開聞十町5210番地4 (電話) 0993-32-0313
自己評価作成日	平成23年3月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・高齢化の進んだ地域であるため、近所に住む入所者の知人が遊びに来てくれたり、裏の畑で日光浴をしていると、通りかかった地域の方が気軽に声をかけてくださる。また、数名しかいない地域の子供たちは、休みの日や学校が終わってから遊びに来てくれて、行事(敬老会やクリスマスやバレンタインなど)にも参加してくれる。開設7年目で、入所者の介護度も1~5までと幅広いが、みんなで季節の作物を使って保存食(切り干し大根・高菜の漬け物・プラムジュース)などを作り楽しんでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、開聞岳を望む国道沿いにある。運営者はホームの隣に住んでおり、地域住民との協力体制が密にできている。開設7年目をむかえ「地域と共に支え合いながら、日々穏やかに過ごす」ことを理念に掲げ、職員は入居者の尊厳を守り日夜ケアに努めている。ホームには、近所に住む知人や子供たちが遊びに来たり、利用者の知人宅を訪問する支援をしている。また地域住民が、日光浴の時など気軽に声をかけている。ホームの食事には、旬の野菜や魚などを取り入れて安全な食を提供している。職員と共に、切り干し大根や漬物・ジュースなどを作ったりしている。家での延長の生活感があり、自然体で特に食事時は楽しいひとときとなっている。また、防災管理に、地域防災協会の緊急連絡網などがあり、安心・安全が確保されている。運営者の人を愛し・動植物を愛する心・思いが、入居者の穏やかな表情に、また、職員の日頃のケアに浸透している。地域密着型ホームの機能が、十分に伝わってくるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝のミーティングの後に声に出することで、日々の介護で意識して実践できるように努めている。	地域密着型の理念を見直して作成している。毎朝、ミーティングの時に唱和して、意識づけし共有しながら、日々の介護に活かし実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の高齢者や子供達が遊びに来て、お茶を共にしたり行事や活動に参加してくれたりしている。	自治会に加入し、回覧板を届けたり新聞発行など地域との交流があり、災害時の協力体制なども確立している。近所の高齢者や子供たちも遊びに来たり、行事などに参加している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	新聞発行や、近所の方への声かけの他、地域に暮らす代表のもとには、地域の方からの介護に関する様々な相談も寄せられ、親身な対応に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議で、状況報告と活動報告を行う他、地域の方からは地域の事や、活動の提案を頂いている。	会議では利用者の状況や活動内容・外部評価の報告をすると共に、参加者からは地域の事や活動の提案が出されている。また行政からは、感染症や防災計画のこと等の情報を得て、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や電話で、そのつど助言や指導を頂いている。	市町村の担当者とは、運営推進会議以外に、電話等で連携を密にとって、そのつど助言や指導を受けて、協力関係を築きながら交流を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体の動きを抑制するような拘束の実施はなく、玄関の鍵は、夜間の防犯目的以外は、解放している。	管理者や職員は、研修等を通じて身体拘束の弊害について理解している。日常のケアについても身体の拘束はしていない。玄関の鍵は防犯目的以外は解放して、精神面の拘束もないように配慮し、ケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体的な異常は、発見者が記録に残すようにして、そのつど原因究明と再発予防を検討している。また、精神的虐待がないように、職員同士でアドバイスし、あって言葉に気をつけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	様々な協議会の開催する、研修にはなるべく参加するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	改訂の際は、文章にてお伝えすると共に、1人々に直接説明し、理解を求めている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会や料金支払いの際に、スタッフや管理者が意識して声かけし、状況報告だけでなく、要望や意見も伺っている。	意見や要望は、家族が面会や来訪の際に、職員が意識して声をかけて聴いている。利用者や家族の意見はミーティング等で提案して、できるだけ取りいれて運営に活かしている。また、重要事項説明書にも行政の相談、苦情窓口を明文化している。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティングを開催し、運営に関する意見も聞いて、運営に反映させている。	月に1回ミーティングを開催して運営に関する意見や提案を聴いている。運営体制もしっかりとしていて働きやすい環境であり、職員の意見や提案は取り入れて運営に反映させている。		
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	休みの希望や、急用などに際しては調整に努め、職員個々とのコミュニケーションをもとに環境や条件の調整も行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	研修の内容に合わせ、代表や管理者が、職員の希望も聞きつつ外部研修を受ける機会を確保している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協議会等の会合参加で他の施設の同業者との交流に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の意見や要望を良く聞き、笑顔で穏やかに対応することで、安心出来るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前・入所時に家族の不安や要望をじっくり聞き、信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所開始時の担当者会議において、必要とする支援を見極め、必要時は主治医や居宅のケアマネとの連絡や情報交換も行い、		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はホームを、「いっしょに生活を共にする大きな家」と考え、利用者とともに、生活する関係を築いていくよう勤めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	家族の面会では、家族だけの空間や時間を支援したり、間に入って一緒にコミュニケーションを図り、共に支える関係であるよう勤めている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	近所の方への声かけや、病院受信時の知り合いの方があつた時などの声かけや本人との間を取り持つなどの支援を行うことで、馴染みの方との関係維持に努めている。	近所の方への声かけや自宅訪問・友人宅訪問に付き添って出かけている。病院受診の時など、知人と会った時は、本人の間をとりもって対話できるようにして、馴染みの人や場所との関係がとぎれないように努めている。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	利用者同士の関係を把握し、座る位置を配慮したり、間を取り持つなどの支援を行っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	ホーム外で、家族に出会った時などは、積極的に声をかけ、その後の経過や不安は無いかなどのフォローをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>1対1になって、じっくり話しをする機会をもつなどして、思いを聞けるように努めている。</p>	<p>日常の関わりのなかで、ゆっくり一人ひとり話しを聞く機会をとらえて、思いや意向の把握に努めている。自分で意志表示できない利用者には、言葉に工夫しながら話かけて、思いを聴けるように努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>日々の生活のなかでのコミュニケーションを情報収集の大切な機会と考え、その方の理解に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎朝の申し送り後に、カンファレンスを行い、1人々の心身の変化の把握に努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族や主治医との意見交換し、本人の希望に添った生活ができるよう計画に努めている。</p>	<p>家族や主治医と意見交換して、ニーズを捉えてカンファレンスで各面から協議し、介護計画を作成している。サービス内容は観察記録簿に記録して、毎月、評価しモニタリングしている。施設サービス計画の工夫がなされ、本人の希望に沿った生活ができている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	毎日の様子や変化は、個別記録に残すと共に、申し送りやカンファレンスにて、職員間で共有している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	家族も高齢者である場合、病院や利用料の支払いや面会など、本人と一緒に家族宅を訪問したり、近所の友人宅への訪問に付き添ったり、個別支援に努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域の方の協力で作る、自衛消防隊の協力や近所の方の訪問などの協力を得ることで、入所者の安全で豊かな暮らしに努めている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	かかりつけ医との関係を大切にし、必要と希望に応じて受診の支援を行っている。	受診は本人や家族の希望を大切にして、かかりつけ医との継続的な関係を保っている。必要と希望に応じて適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は、職場内の看護職員と情報交換を常に行い日々の介護や受診にいかしている。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、情報提供書を提出し、面会に行くことで、その後の情報交換に努めている。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今まで二人の方を見取り、状態に合わせて話し合いを持ち、事業所がどこまで出来るかを検討しながら支援に取り組んでいった。しかし、人々の状況も違い、その時のスタッフの力量も変わってくるので、方針を決めかねている。	過去に看取りの経験があり、事業所で何処まで支援できるか医療関係者や職員と検討しながら取り組んでいる。しかし、状況等の変化もあり方向性が示されていない状況である。	職員との共有を図り、本人や家族とも話し合い、重度化や終末期に関する指針を定めることが期待される。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎朝の申し送りの後に、救急の対応や通報の仕方などを口頭で述べ合い、シミュレーションをしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災・避難訓練を実施するとともに、避難スロープも日光浴に出る時などに練習のために、使用することもある。地域の自衛消防隊にも協力を得ている。	年2回防災訓練を実施して、職員が誘導など身についている。消防署や職員に通報できるよう火災通報装置も完備している。日頃も利用者が外出する時など非難スロープを使用したり、また、地域の自衛消防隊とも協力体制ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月のミーティングに置いて、言葉遣いや接遇に対する指導を行うとともに、丁寧な言葉かけや人格を尊重した言葉に努めている。	管理者は毎月のミーティングにおいて言葉遣いや接遇について研修している。人格を尊重し、丁寧な言葉かけやプライバシーを損ねない対応に職員は努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけに置いても、指示的名言葉を使わずに疑問系で問い合わせ、本人が決定したり意思が表出できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課はあるが、本人の体調やペースに合わせた活動や休息など、一日の過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的な散髪や爪切りなどの支援と、その都度の整髪の声かけや支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日のメニューを伝え一緒に楽しみにしたり、野菜の下ごしらえや高菜の漬け物・スモモジュースなどを、いっしょに作り楽しんでいる。	食事を楽しむことができるよう、毎日の献立を伝えて、食事を話題にして共に楽しんでいる。また、一人ひとりの好みや力を活かしながら、野菜の下ごしらえや高菜の漬物・スモモジュースなどを、一緒に作って楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は記録に残し、水分は声かけをしている。体調によっては、水分量のチェックを行うこともある。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1人々に声かけし、その方に応じて、義歯洗浄の仕上げ介助や全介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の、必要に応じて声かけやトイレ誘導に努めている。	日常のケアの中で、排泄チェックをして個々のパターンを把握している。必要に応じて声をかけてトイレでの排泄誘導に努めて、排泄の自立に向けた支援を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行うと共に、食事・水分・運動への配慮と医師の指示のもと、下剤等の管理を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45 17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回の入浴を基本に、必要や希望にあわせて声かけし支援している。	入浴は週2～3回を基本にしている。利用者の身体状況や希望に合わせて、声をかけて柔軟に入浴ができるように支援している。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない方がいれば、一緒にすごしたり、部屋で付き添い安心できるよう支援している。眠剤の使用は、本人・医師と相談しながら支援している。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職場内の看護資格を有する職員を中心に管理しており、内服の準備も二重確認を行っている。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の好みを把握して、園芸や歌・踊りの他、ドライブなどの支援を行っている。			
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	声かけしても外出希望をされる方は少ないが、季節に合わせて花見やそうめん流しに出かけている。墓参りなどは、家族の協力を頼いたり、近くの場合は職員が付き添ったりしている。	天候や本人の身体状況に合わせて散歩など外出の機会を捉えている。年間計画で、花見やドライブ・そうめん流し等に出かけている。墓参りは、家族の協力や近くの場合は職員が付き添っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持っていることで安心している方が2名あるが、現在は使用の希望はない。希望があれば、準備はできている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば、電話を取り次いだり、伝言をするなどの支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花は、途切れることなく飾られており、入所者や近所の子供達と制作した物を飾っている。気温や湿度は適宜チェックして、加湿器やエアコンを調整している。	共用の空間は天井が高くて圧迫感がなく快適である。昔の家の天井の大きな梁を上手く利用してインテリア風である。季節の花や利用者が近所の子供たちと作った折り紙などが飾ってある。加湿器やエアコンも調整して配慮され、家庭の居間を思わせる空間は、居心地よく過ごせる工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入所者同士で、気のあった方の部屋を訪問して、おしゃべりを楽しむ姿が見られる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	入所時に説明し、馴染みのものを持ってきて、使いやすく落ち着ける居室を工夫している。	テレビやタンス・写真など馴染みの物が持ち込まれて、落ち着いて過ごせる居室である。各部屋に換気扇があり、利用者の希望に合わせてフローリングや畳敷きの部屋もあり、居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	必要に合わせて、手すりの設置や部屋の目印などを工夫し、迷ったり不安が生じないように、支援している。		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に 1 回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない